

随意契約（相手方指定）調書

件名	令和8年度スマートフォンアプリを活用した区民参加型生物調査事業実施委託	5200010
工（納）期	令和 9年 3月31日	
契約締結日	令和 8年 4月 1日	
契約金額	3,494,700円（消費税込み）	

契約相手方	株式会社バイオーム  (法人番号：9130001059915)	
相手方指定理由	別紙に記載のとおり。	
備考		

## 業者選定理由書

件名	令和8年度スマートフォンアプリを活用した区民参加型生物調査事業実施委託
指名業者(案)	名称 株式会社バイオーム 代表者 代表取締役 藤木庄五郎 所在地 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 ASTEMビル8階
特命理由	<p>本件は、区内で撮影した生物の写真の投稿してもらうことで、生き物図鑑の作成を行う区民参加型の環境イベントの実施を委託するものである。 主管課からは、部の機種・業者選定委員会の了承を得たうえで、上記の業者を契約相手方として指定したい旨の依頼があった。</p> <p>経理課として検討したところ、 本事業は、区民が気軽にイベントに参加いただけるようスマートフォン向けのアプリの使用を想定しており、使用するアプリには、撮影した生物を判定するAI機能、イベント開催機能、図鑑機能、地図情報との連携機能が必要である。 同様のアプリを提供する他社との比較検討を行ったところ、これらの機能を網羅しているのは、上記事業者が提供するアプリ(以下、本アプリ)のみであった。 本アプリの生物名判定AIは、撮影による生物の形態のみで判定する他事業者のアプリと異なり、地図情報に基づき、その生物が生息する場所や環境の情報を取り入れて判定する機能を持つ唯一のアプリであることから、図鑑作成を行う上で必要な信頼性が高いデータの収集が可能である。 本アプリの累計ユーザー数は112万人以上、投稿生物データ数は880万件以上に上り、23区において同様のイベントを実施している4区においても上記事業者が受託している。 また、令和7年度の本件業務を受託しており、イベント開催までの調整も円滑に実施し、成果品の内容も充実しているなど履行評価も良好であったことから、確実な履行が期待できる。</p> <p>以上のことから、上記業者を相手方に指定した随意契約を締結する。</p>
その他特記事項	根拠規定: 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (性質又は目的が競争入札に適さないもの)